ＪＰ労組北陸退職者の会会報

第5号
2015年7月25日
発行責任者
坂本哲治
編集責任者
串田信行

連協&支部活動に重点を

会員の親睦と交流　なんば奨二の必勝を

北陸退職者の会第1回地方総会を開催　7月19日

ＪＰ労組北陸退職者の会は、7月19日、金沢市内で第1回定期地方総会を開催し、向こう一年間の活動方針を決めました。

総会には、中央幹事会代表や現役の会地方本部役員等が来賓として、また、北陸幹事会9名の役員と富山・石川・福井の3連協から23名の連協代表が総会構成員として出席しました。

福井連協代表の青木岩蔵さんが総会議長に就き総会が進行されました。

主催者を代表して坂本哲治会長が「ＪＰ労組の全国・地方大会を傍聴したが、代議員から出された発言は郵政3社の株式上場を目の前にして由々しき状況のようだ。また、退職者の会全国総会でも①会員拡大、②現退一体体制の難しさなど北陸と共通した意見が多く出されていた。北陸としてもこれらの課題に積極的に取り組まなければならない」また「今日の私たちを取り巻く状況を打破するためにも、連協、支部がいっそうの組織力を高め、全ての活動をなんば奨二必勝に向けて収斂し、後援会加入目標を達成しよう」と。

引き続いて協議に入り、串田事務局長から①活動経過報告、②2015年度の活動方針(案)の提起説明が行われ、質疑応答の後、報告・提案は全て承認されました。

ＪＰ労組退職者の会第1回全国総会が開催される

北陸地方総会に先立ち、7月2～3日、京都市において第1回全国総会が開催されました。

北陸退職者の会からは、坂本哲治（石川連協会長）、中村繁（富山連協会長）、春木茂（福井連協事務局長）が地方代表として出席しました。

北陸からは①組織運営のあり方、②会員管理の統一と会報発送の現行化、③会員拡大に向けた現状と課題――について意見を述べました。

早い時期に退職者の会の活動の総括を行うとの中央幹事会の締めくくりで総会は終了しました。

富山連協総会及び石川連協総会は8月2日に、福井連協総会は8月8日に開催されます。

「富山連協退職者の会」活動だより

『第１回富山連協総会』（２０１５年８月２日）
於・「ボルファートとやま」

２０１５年度活動計画（案）

一．はじめに

⑴２０１４年４月８日にＪＰ労組退職者の会が結成され、同月20日北陸退職者の会の設立総会が開催されました。これを受けて富山県では、５月25日に「ＪＰ労組富山連協退職者の会」の設立総会を開催し、新たなスタートとなりました。その後６月29日、富山東部支部と富山西部支部の２支部の退職者の会を発足させました。

⑵ＪＰ労組の基本理念に基づいて、①会員相互の親睦をはかり、②会員の福祉の増進をはかり、③社会福祉の向上など年金生活者がいっそう安心して生活できる――ことを中心に活動を展開し１年が経ちました。

⑶具体的には、会員相互の親睦をはかることを目的とした①親睦会旅行、②新春の集いの開催、③会員への情報提供としての地方退職者の会と提携した情報の発信などの活動を進めてきました。

第１回連協総会では、２年目を迎える退職者の会のいっそうの強化に向けたご意見をいただきますようお願い申し上げます。

二．２０１５年度の具体的な活動

ＪＰ労組退職者の会設立の趣旨に沿って、以下のとおり２０１５年度の具体的活動計画を提案します。

⑴会員相互の「親睦と交流にむけて

昨年に引き続き①親睦旅行（一泊二日）、②新春の集い――を企画実践します。

具体的には、親睦旅行については、２０１５年11月14日から15日に新潟方面への一泊二日の旅行を企画する予定です。また、新春の集いは２０１６年２月に実施の予定です。

富山連協『第１回親睦旅行』（2014.11.15～16）

⑵会員拡大に対する具体的な行動展開

現在の組織人員を拡大することが一般活動に大きく影響するばかりか慶弔金給付制度にも大きく影響することをお互いが認識し、会員拡大に総力を上げることとします。

具体的には、３月末の定年・勧奨退職、また、満65歳となり雇用契約期間満了により退職となり入会資格をもつ組合員（管理職も含む）に対して、ＪＰ労組現役組合員と退職者の会会員が協力し、現退一体となった加入拡大オルグ行動を展開します。

⑶政治課題の具体的な取り組み

退職者にとって年金・医療等の社会保障の充実にむけては政治と大きくかかわりをもつことから、ＪＰ労組退職者の会も積極的に政治に関与しなければなりません。

来年夏に予定されている参議院議員選挙に立候補を予定しているＪＰ労組組織内議員「なんば奨二参議院議員」の再選に向けた取り組みを強力に進めます。

また、政治活動の基盤づくりとしての「郵政未来研究会」（略称・みらい研）への加入拡大にも積極的に取り組みます。

⑷会員への情報の提供

北陸地方退職者の会と連携し、年４回の会報の発行による情報提供に努めます。

⑸退職者連合との連携強化について

連合や退職者連合との連携を強化し、年金・医療等をはじめ、高齢者が抱えている諸課題の解決のため積極的に関わっていくこととします。また、他の退職者組織との交流にも努めます。

⑹各種共済への加入拡大の取り組み

ＪＰ共済生協（ポストライフ）、及び（株）郵愛の各種共済商品の周知に努め、加入の促進をはかります。

＜組織状況＞
（2015年７月13日：現在）

支　部	会　員
富山東	90名
富山西	41名
合　計	131名

＜組織慶弔給付状況＞
（2014年４月１日～2015年３月31日）

支　部	喜寿	米寿	死亡
富山東部	2名	2名	1名
富山西部	1名		
合　計	2名	2名	1名

※給付金は、喜寿・米寿・死亡とも5,000円

住所変更・慶弔制度に関わることは、所属の連協にご連絡ください。平日10：00～17：00に連協事務職員が対応いたします。
富山連協（富山中央局）　〒930-8799 富山市桜橋通り6-6　TEL 076-441-4329

「石川連協退職者の会」活動だより

『第1回石川連協総会』（2015年8月2日）
於・「金沢都ホテル」

2015年度活動計画（案）

一．はじめに

(1) 昨年４月に設立したＪＰ労組退職者の会は、長年に亘り郵政事業に携わってきた仲間同士が退職後も「生涯組合員」として、ＪＰ労組にかかわり現退一体となって「ともにより豊かな人生を追求していく」組織として発足しました。

発足後、この1年3か月でなんとか連協・支部の組織基盤は確立できたといえます。今年度は連協・支部の組織を充実・成長させていく期間と位置づけ活動を進めていくこととします。

(2) 石川連協退職者の会は、旧退職者組織から加入した７２３名の会員でスタートしました。しかし、この1年3か月でわずかに新規加入があったものの死亡・脱退により、現在の会員は６７９名と減少しています。

今年度は現役組織と連携し、組織拡大に向けた行動を積み重ねていくこととします。拡大には会員をサポートし、会員から共感を得られる活動が必要です。拡大に向け、会員が「頼りがいのある楽しい組織」と実感できる組織づくりに取り組んでいくこととします。

(3) 安倍政権は集団的自衛権の行使を含む安保法案を成立させようとしています。また、労働者派遣法や残業代ゼロ制度などの改悪法案も成立させようとしています。退職者にとって重要課題である年金・医療・介護制度も揺らいでいます。

暴走する政治を阻止し流れを変えるため、来年夏の第24回参議院議員選挙においては、総力を挙げた現退一体のたたかいで、ＪＰ労組織内議員「なんば奨二」の再選を勝ち取ることとします。

二．2015年度の具体的な活動

(1) 会員相互の「親睦と交流」

連協・支部において創意工夫した「親睦と交流」活動を行っていくこととします。

連協行事として第２回「交流と学習の集い」を能登地区で一泊で開催することとします。

(2) 会員拡大の取り組み

① 郵政事業の民営化以降に退職された方で、退職者の会未加入の方に加入呼びかけ文書を送付します。

② 現役組織と連携し３月末の定年退職者、各時期の勧奨退職者、満65歳になり雇用契約満了により退職となった組合員（管理者も含む）に加入を呼びかけます。

③ その他の入会資格者にもＪＰ労組の協力を得ながら加入呼びかけを行っていくこととします。

(3) 政治課題の取り組み

① 現退一体で民主党を基軸とした政治勢力の結集に取り組みます。

② 来年夏の参議院議員選挙においてＪＰ労組織内議員「なんば奨二」の再選を果たすため、すべての活動を「なんば勝利」につなげる意識を持って取り組みます。

石川連協『交流と学習の集い』(2015.5.14)

２０１５年度富山連協「一般会計」予算（案）
（2015年4月1～2016年3月31日）

＜収入の部＞

科　目	予算額	備　考
繰越金	43,402円	前年度よりの繰越金
会費	315,000円	2500円(連協1000円、支部1000円、慶弔500円)×126名
助成金	0円	助成金、寄付金等の受け入れ
雑収入	15円	利子、祝い金の受け入れ
合計	358,417円	

＜支出の部＞

科　目	予算額	備　考
支部交付金	126,000円	支部費1,000円×126名
慶弔振替金	63,000円	慶弔費500円×126人
会議費	10,000円	JP労組会計で措置する（連協総会・幹事会）以外の会議費
旅費	10,000円	支部総会・幹事会などの参加旅費、会計監査に要する旅費
教育広報費	50,000円	情報の印刷・発送の費用、文化・レク活動の費用
組織関係費	20,000円	組織拡大、その他組織対策全般に対する費用
共闘費	30,000円	退職者連合等の友誼団体に対する費用
事務費	20,000円	消耗品費、通信費など連協事務全般の費用
予備費	29,417円	
合計	358,417円	

(4)平和活動の取り組み

ＪＰ労組が取り組んでいる平和行動や退職者連合の平和活動に積極的に参加することとします。

(5)退職者連合との連携強化

社会保障制度の充実に向け、石川県退職者連合と連携し活動していきます。退職者連合が取り組むボランティア活動やレク活動などにも積極的に参加していきます。

(6)各種共済の加入拡大

ＪＰ共済生協、㈱郵愛の各種商品については、連協・支部共済委員会と連携しながら加入促進をはかっていくこととします。また、退職者の会への加入呼びかけの際、併せて共済商品の加入・継続を呼びかけます。

(7)広報活動の取り組み

『ＪＰ労組北陸退職者の会会報』の「石川連協活動だより」を活用し連協・支部活動の周知・報告を行っていきます。

三．各種会議の開催

(1)第２回石川連協総会は、来年夏の参議院議員選挙の状況を踏まえ、開催日を決めます。

(2)連協幹事会については原則、年４回開催することとし、ＪＰ労組石川連協と協議し必要となった場合は適時開催することとします。

四．支部組織の再編

現役支部に合わせた支部再編は、連協幹事会で引き続いて検討していくこととします。

２０１５年度石川連協「一般会計」予算（案）
（2015年4月1～2016年3月31日）

＜収入の部＞

科　目	予算額	備　考
繰　越　金	305,947円	前年度よりの繰越金
会　　費	1,500,000円	2,500円(連協1000円、支部1000円、慶弔500円)×600名
助　成　金	0円	助成金、寄付金等の受け入れ
雑　収　入	70円	利子、祝い金の受け入れ
合　　計	1,806,017円	

＜支出の部＞

科　目	予算額	備　考
支部交付金	600,000円	支部費1,000円×600名
慶弔振替金	300,000円	慶弔費500円×600名
会　議　費	0円	JP労組会計で措置する(連協総会・幹事会)以外の会議費
旅　　費	30,000円	支部総会・幹事会などの参加旅費、会計監査に要する旅費
教育広報費	400,000円	情報の印刷・発送の費用、文化・レク活動の費用
組織関係費	150,000円	組織拡大、その他組織対策全般に対する費用
共　闘　費	70,000円	退職者連合等の友誼団体に対する費用
事　務　費	150,000円	消耗品費、通信費など連協事務全般の費用
予　備　費	106,017円	
合　　計	1,806,017円	

＜組織状況・組織慶弔給付状況＞

支　部	会員	喜寿	米寿	死亡
能　　登	162名	10名		1名
石川中央	276名	5名	3名	8名
南　加　賀	134名	4名	3名	3名
郵政金沢	106名	4名	1名	1名
合　　計	678名	23名	7名	13名

※会員数は 2015 年 7 月 13 日:現在

※慶弔給付は 2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日
（給付金は、喜寿・米寿・死亡とも 5000 円）

ポイント1 セット加入でさまざまなリスクに備える
火災共済と自然災害共済に加え、リスクに応じて選べるさまざまな特約もご用意しました。

ポイント2 古い住宅や家財でも「再取得価額」で保障
火災共済は、火災などによる被害に対して、同程度のものを新たに購入・修理するために必要な金額(再取得価額)で保証します。

火災共済
火災共済の保障の範囲です。
火災など
・火災
・落雷
・破裂・爆発
・突発的な第三者の直接加害行為(損害額5万円以上)
・他人の住居からの水ぬれ
・消火作業による冠水・破損
・他人の車両の飛び込み
・建物外部からの物体の落下・飛来

自然災害共済
自然災害共済のみのご加入はできません。大型タイプ 標準タイプの2種類があります。
自然災害共済の保障の範囲です。
風水害などの保障が、より手厚くなります。
風水害など
・暴風雨
・突風・施風（竜巻含む）
・台風
・高波・高潮
・洪水
・豪雨・長雨
・雪崩
・降雪
・降ひょう
・上記による地すべりもしくは土砂崩れ
地震など
・地震による損壊
・噴火・地震による火災
・津波・噴火による損壊
盗難による被害
・盗難による盗取・汚損・損害が生じ所轄警察署に被害の届け出をした場合

ポイント3 「落雷」による被害も保障
過去の原因別共済金支払件数(火災共済)で常に上位となる落雷の被害火災共済がしっかり保証します。

ポイント4 住宅の70%以上の焼破損割合で全焼損扱い
火災共済は、火災などによる住宅の被害割合が70%以上で全焼損あつかいとなり契約共済金の全額をお支払します。

ポイント5 自然災害の保障が充実「大型タイプ」
自然災害共済「大型タイプ」は、大型の補償で風水害被害や地震などの自然災害から住宅や家財をしっかり守ります。掛け金が手頃な「標準タイプ」もあります。

ポイント6 もしものときも安心です
住宅被害の事故受付は365日・24時間受付しています。

JP共済生協　ポストライフサービスセンター　〒151-8591　東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-20-6

●各種共済(マイカー共済を除く)のお問い合わせ
0120-562-105

●マイカー共済のお問い合わせ
0120-562-100

【受付時間】９：００～１７：４５(土・日・祝日除く)